

日本植生史学会ニュースレター

No.20 April 30, 2010

第31回日本植生史学会談話会のご案内, 第25回日本植生史学会大会のご案内(第1報), メタセコイアシンポジウムのご案内, 国立歴史民俗博物館 ぐらしの植物苑観察会のご案内, 国立歴史民俗博物館 歴博講演会のご案内, 学会ニュース

第31回日本植生史学会談話会のご案内

◆講習会：植生史解明のための室内実験法4－初心者のための遺跡出土木材の切片作製と同定法－

内 容：仕事や研究で樹種同定法を活用したい方のために、初心者を対象にして光学顕微鏡を用いた木材遺体の同定方法の解説・実習を行ないます。特に、出土木材の取り扱いや、樹種同定に適したプレパラートの作り方、顕微鏡操作時の注意点、樹種識別データベースの使い方などについて説明します。講習会中に高解像度X線CTの見学も行います。

講 師：能城修一（森林総合研究所木材特性研究領域）

講師補助：佐々木由香・小林克也（パレオ・ラボ）

日 時：2010年7月17日（土）13：00から18日（日）16：00 ごろまで

場 所：中央大学後楽園キャンパス理工学部2号館5階 2502 教室教養生物学実験室。場所は日本植生史学会 Web サイトに地図を掲載しましたので、ご参照下さい。

主 催：日本植生史学会

世話人：西田治文（中央大）、近藤 敏（市原市埋文センター）

定 員：20名（先着順）。申し込み締め切りは、7月7日（水）まで

今回の講座は、広く参加者を募集します。専門的な内容を含みますので、日本植生史学会々員、または専攻学生、研究者、これまでに集中講座に参加したことがある方等を対象とします。

経 費：実費 会員 2000 円 非会員 3000 円（額は見込み。当日会場にて徴収します）

申込先：danwa31@hisbot.jp

申込方法：メールのタイトルを「第31回談話会参加希望」として、次の事項を記載の上、danwa31@hisbot.jp 宛お申込み下さい。①氏名・所属、②連絡先（住所、電話番号、E-mail）、③会員／非会員、④懇親会の参加／不参加。原則2日参加できる方を優先します。汚れますので、白衣等の持参をお願いします。

スケジュール（適宜、休憩をとります）

一日目（17日・土曜日）

13：00	集合
13：00～13：30	正確で効率的な同定を目指して（講義）
13：30～17：30	プレパラートの作製（実習）
18：00～	懇親会（有志のみ、参加費別途）

二日目（18日・日曜日）

9：00	集合
9：00～10：00	顕微鏡テクニックについて（講義）
10：00～12：00	木材の同定-その1（実習）

12:00~13:00	昼食 (大学付近に多くありますので、各自でお願いします)
13:00~15:00	木材の同定-その2 (実習)
15:00~16:00	質疑応答
16:00	解散

その他：作製したプレパラートが必要な方は、プレパラート BOX などを用意して下さい。

未同定木材がある方は、木材またはプレパラートをご持参下さい。可能な限り対応します。皆様の多数の参加をお待ちしております。

第 25 回日本植生史学会大会のご案内 (第 1 報)

第 25 回日本植生史学会大会を下記の日程で開催します。

◆日時

11 月 27 日(土) 午前：幹事会・評議員会

午後：公開シンポジウム・奨励賞授与及び受賞記念講演・懇親会

11 月 28 日(日) 午前・午後：一般研究発表 (口頭・ポスター) ・総会

◆会場 名古屋大学野依記念学術交流会館 (名古屋市)

◆主催 日本植生史学会・名古屋大学年代測定総合研究センター・名古屋大学文学研究科

◆大会実行委員 中村俊夫 (委員長)・山本直人・南 雅代・森 勇一・工藤雄一郎・西本 寛・奥野絵美・小田寛貴・宮田佳樹・大森貴之・近藤 敏・藤井理恵

◆公開シンポジウム 「東海地方における里山林の成立とその利用 (仮題)」

オーガナイザー 森 勇一・斎藤 毅

趣旨：今からおよそ 500 万年から 200 万年前に堆積した河川成堆積物で構成された東海地方の丘陵地には、シデコブシやハナノキ・イヌナシなどをはじめ東海丘陵要素と呼ばれる植物を含む里山林が成立している。こうした里山林の成立に、ヒトがどう関わってきたか、近年、注目を集めている「里山の生態学」について概観する。

時代をさかのぼり新第三紀から第四紀にかけての植物相について、花粉および大型植物化石を用いた研究法と、その成果から得られた里山林の原型を考える。次に、先史～歴史時代のころ、ヒトが里山の森林資源を建築材あるいは生活道具としてどう選び、どう利用してきたか、遺跡調査から得られた情報をもとに追究する。やがて、里山林は江戸時代から明治・大正・昭和を経て今日に至る間に大きく変貌し、今やヒトはこれを守り育てる必要性に迫られている。そのあるべき姿について考察する。

◆年代測定総合研究センターの施設見学ツアー

名古屋大学年代測定総合研究センターでは、大会期間中(11/27, 28)に装置見学会を開催します。加速器質量分析計や試料調製室などを見学しながら、センターのスタッフが加速器質量分析計による ^{14}C 年代測定法について解説します。施設内のスペースの関係上、申込制とし、各回の定員は 10 名、申込みは先着順とします。以下の 3 回を予定しています (詳細は 8 月頃の第 2 報でご案内します)。

第 1 回：大会初日、シンポジウム開始前

第 2 回：大会 2 日目、昼休み

第 3 回：大会 2 日目、午後の一般研究発表終了後

◆大会・施設見学ツアーの申込方法等の詳細は 8 月頃にご案内する予定です。一般研究発表の申込締め切りは、10 月上旬頃になる見込です。

メタセコイアシンポジウムのご案内

8月に大阪市立自然史博物館で開催される、メタセコイアシンポジウムの2nd Circular ができました。このシンポジウムは、日本の植物研究者が是非とも盛り上げるべき責務のようなものを感じます。議論と友好を深めるために、できるだけ多くの植生史研究者の参加を期待いたします。下記HPをご参照のうえ、できるだけ早めに参加登録をお願いします。

HP: <http://www.biology.tohoku.ac.jp/garden/meta/mata-second.html>

国立歴史民俗博物館 暮らしの植物苑観察会のご案内

国立歴史民俗博物館の暮らしの植物苑では毎月講師を交えて、「観察会」を実施しています。申し込みは不要・参加無料です。(ただし入苑料100円が必要です。高校生以下は無料です。)

時 間：13:30～15:30 (8月は10:00～12:00)

場 所：苑内の東屋の前に集合(交通はWebサイトをご覧ください。<http://www.rekihaku.ac.jp/access/index.html>)

日 程：

5月22日(土) 第134回 「美術にみる夏草」 日高 薫(国立歴史民俗博物館研究部)

6月26日(土) 第135回 「農事にかかわる植物たち」辻 誠一郎(東京大学大学院新領域創成科学研究科)

国立歴史民俗博物館 歴博講演会のご案内

◆第317回 「環境変動と縄文時代の始まり」

講 師：工藤雄一郎(国立歴史民俗博物館研究部)

日 程：2010年5月8日 14時～16時(定員260名、参加無料)

場 所：歴博講堂

詳しくはWebサイトをご覧ください。<http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html>

学会ニュース

●第24回植生史学会大会要旨集の訂正のお願い

第24回植生史学会大会要旨集に誤植がありました。購入された方は訂正をお願いします。

pp36-37 箱崎ほかの要旨O-4 発表者名のローマ字表記 誤：YOCHIDA → 正：YOSHIDA

●会費納入のお願い

2009年12月末に会費の振替用紙を送付しました(2010年度会費をすでに納付していただいている方には同封しておりません)。2010年度会費の早期納付にご協力下さい。また、同封の振替用紙にて納付状況をご確認の上、2010年度分と未納分を合わせて納付して下さい。よろしく申し上げます。

現在2007年度から4年分の会費を滞納している方が6名おります。この6名については、会費納入の呼びかけに応じない場合、2011年度大会での承認を経て除名となります。また、2008年度から3年分の会費を滞納している方が17名おり、18巻1号以降の会誌発送を停止する予定です。未納会費の早期納付をお願いします。

日本植生史学会会費(2010年度より)

一般会員：6000円、学生会員：3000円、団体会員：8000円、賛助会員：一口15,000円とし一口以上とする。

会費納付先：郵便振替口座 00980-8-70087 加入者名 日本植生史学会

●第48回（2010年度第3回）幹事会議事要録

日時：2010年4月17日（土）13:30～17:00

場所：中央大学理工学部教養生物学実験室2502教室

出席者：南木会長，西田事務局長，那須庶務幹事，工藤会計幹事，佐々木広報・渉外幹事，能城編集委員長，近藤行事委員長

報告事項

1. 会員動向：2010年4月15日現在の会員数が報告された（名誉会員3名，賛助会員1社，一般会員359名，学生会員32名，団体会員8団体）。
2. 会費長期滞納者への対応：2006年度より5年分滞納の3名については，数回にわたって書面等で会費納入を呼び掛けたが，12月18日までに納入がなかったため除名した。
3. 植生史研究の編集状況：現在受理論文が4本，査読中論文が4本あることが報告された。次号は6月までに発行予定。依然として投稿数が少ないので会員への積極的な投稿を呼びかける必要がある。
4. 事務局名称について：4月から庶務幹事の所属先の名称が「葉山高等研究センター」より「学融合推進センター」に変更になった。そのため，学会事務局の名称も変更する必要が生じるが，10月より学会事務を業者に委託する予定であり，ここでも事務局名称を変更する必要があるため，学会誌や封筒に記載の連絡先は旧名称を引き続き利用することにした。

審議事項

1. 第25回大会について：第25回大会の準備状況が報告され，大会実行委員会での決定事項について審議した。
2. 第31回談話会について：第31回談話会「植生史解明のための室内実験法4－遺跡出土木材の切片作製と同一」の詳細を打ち合わせた。
3. 第26回大会について：第26回大会の候補地案を検討した。
4. 奨励賞について：奨励賞の応募数が少ないため，締切り前に再度メーリングリストで告知し，積極的な推薦を呼びかけることにした。
5. 学会事務委託について：次年度予定の学会事務委託について，契約書案を審議した。次回幹事会で業務内容の詳細を直接確認してから契約することにした。
6. ニュースレターについて：次号4月末日配信予定のニュースレター掲載内容について審議した。
7. IPC/IOPCの準備委員会について：IPC/IOPC準備委員会の人選とセッションや巡検案を検討していくことにした。
8. バックナンバーについて：バックナンバーセット販売の内容を変更することにした。

◆第7期日本植生史学会役員（任期：2009年10月1日～2011年度大会）

会 長：南木睦彦

評議員：植村和彦，鈴木三男，高原 光，松下まり子，百原 新

幹 事：西田治文（事務局長），那須浩郎（庶務），工藤雄一郎（会計），佐々木由香（広報・渉外）

編集委員会：能城修一（委員長），大井信夫（副委員長）

行事委員会：近藤 敏（委員長），藤井理恵（副委員長）

事務局：

●連絡・問合せ 庶務幹事 那須浩郎 〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）総合研究大学院大学葉山高等研究センター TEL:046-858-1598 FAX:046-858-1544

●入会・異動・退会・購読の申込み 会計幹事 工藤雄一郎 〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地 国立歴史民俗博物館 研究部考古研究系 工藤気付 日本植生史学会 TEL:043-486-4266（直通），FAX:043-486-4299（考古研究系共通）

庶務・会計：hbmain@hisbot.jp 会誌投稿：hbjournal@hisbot.jp

●NL 編集・発行，メーリングリスト登録先 日本植生史学会 広報・渉外幹事 佐々木由香 hbnews@hisbot.jp

●学会ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/historbot>